



佐々木 伸 広さん(23)
美 咲さん(22)
＝胆沢区若柳字中横沢原＝

雨の日も晴れの日も

●どんなときも一緒に素敵な夫婦を紹介

ピーマン農家を営む伸広さんと美咲さんは、結婚4年目の若夫婦。昨年には長女の瑠雫ちゃん^{なな}が誕生し、仕事に子育てに大忙しです。

厳しいことで有名な滋賀県のタキイ種苗の研修農場で研修生をしていた伸広さん。息抜きに出かけた京都で美咲さんに出会いました。互いの第一印象は「爽やかな青年」「京風な女性」だったという二人。1年ほどの交際を経て、伸広さんが研修を終えて地元に戻るのを機に、結婚しました。ピーマン農家に嫁いだ美咲さんですが、実はピーマンが食べられないほど苦手だったそうです。結婚後、食卓にピーマンが出たときに初めて知らされ、伸広さんも驚きました。そんな美咲さんも「今では大好き。この野菜はおいしいです」と伸広さんの野菜に太鼓判を押します。一方、「野菜がお金に見える」という伸広さんは野菜より肉が好きで、美咲さんから「ちゃんと野菜を食べて」とお願いされ、苦笑いです。

互いの地元で挙げた結婚式が思い出という二人。京都では入籍した年に挙げ、美咲さんの姉手作りのドレスを着ました。市内ではことし式を挙げ、美咲さんがサプライズの手紙を用意しました。手紙には遊園地チケットを添えたそう。「一緒に行こうね」と笑いあふ二人でした。



芦野 清剛 くん
(前沢区・前沢小学校6年)

Interview

夢トーク

将来の夢は「サッカー選手」

——学校での役割は？

本が好きなので図書委員長をしています。本を整理したり、貸し出しの当番が仕事です。本の整理では新しい本に出会えるのが楽しいです。

——小学校生活の思い出は？

5年生のときに三日町商店街でやったあきんど体験です。地域の人に商品売る体験学習で、自分たちで仕入れた牛乳やヨーグルトを売りました。全部売れてうれしかったです。

——好きなスポーツは？

サッカーです。前沢ジュニア

サッカースポーツ少年団でフォワードをしています。始めたきっかけは、父が勧めてくれたから。攻めることが好きで、点が取れるとうれしいです。

——将来の夢を教えてください。

サッカー選手です。ずっと続けてきたことなので、これからも続けていきたいです。

——夢を叶えるために、頑張っていることは何ですか？

本田圭佑選手に憧れて、サッカーノートを始めました。試合前には理想のプレイを、試合後はその反省を記録しています。



青春讃歌

小山中学校 バレーボール部

- ◎部員数 24人
- ◎顧問 及川 晃弘 先生
井上 芳枝 先生
- ◎主将 土谷 優奈 さん(3年)
- ◎部長 佐々木 英舞 さん(3年)

弱点を克服し 中総体優勝に挑む

3年生8人、2年生8人、1年生8人の計24人で活動する小山中学校バレーボール部。これまで女子だけだった同部では、来春の胆沢区の中学校統合に向けて男子も入部するようになり、1年生のうち4人が男子です。

「みんな負けず嫌いで、コートに入るとギラギラしています」と笑う主将の土谷優奈さん。それでも、互いにアドバイスしあうなど、仲のいい部員たちです。チームの持ち味は攻撃力で、高い決定率のスパイク、クイックとサーブが強み。5月に行われた県の春季大会では3位に入賞するなど、実績も確かです。そんな誇れる成績でありながら土谷主将は「優勝した2月の県選抜大会で勝利した相手に、今度は負けてしまった」と悔しさを口にします。「けがなど

で精神的な弱さがあった。それがレシーブに出てしまった」と部長の佐々木英舞さんは反省します。それを受けて、弱点であるレシーブの強化に取り組む部員たちは、ボールを最後まで諦めないことを意識し練習に励んでいます。

「小山中学校としてプレーできるのはことしで最後。中総体で優勝して、学校の名前を記録に残したい」と意気込む土谷主将。自身も経験者という及川先生は「自分たちで課題を捉え、改善に向けて動いている。頼もしく思う」と目標の達成に期待を寄せました。



3人一組となり1分間サーブを受け続けるレシーブ練習

おうしゅう おうしゅう 羅針盤



暑さが日ごとに増してまいりましたが、皆さんいかがお過ごしですか。

先月、「協働のまちづくり」の担い手として活躍する地域リーダー育成のための、協働のまちづくりアカデミー開講式を行いました。3期目のことしは、18歳の学生から70代までの22人が受講し、地域課題解決のための実践活動や演習を行ってまいります。リーダーとしての資質を磨き、まちづくりの中心メンバーとして活躍を期待しております。

待望の防災拠点施設、江刺消防署東分遣所庁舎が落成し、5月23日、地元の皆さんとともに完成を祝いました。新庁舎は、江刺区東部居住区の中央に位置しており、消防自動車、救急自動車各1台を備え、現場到着にかかる時間をこれまでより10分程度短縮するこ

とが可能となりました。今後、災害対応体制の充実強化に努めてまいります。

スポーツ参加率を競うイベント「チャレンジデー」に、奥州市はことしも参加いたしました。対戦相手は長崎県の大村市。結果はわずかに1ポイントの差で惜敗となりました。大村市の健闘を讃えるとともに、スポーツを楽しむ機運を、岩手国体の成功に結びつけていきます。

先月、京都で開催された関西西奥州会総会への出席と、清水寺の森貫主へ表敬訪問をしてまいりました。関西西奥州会として森貫主には、本市の発展のためご支援ご協力いただいております。深く感謝しております。これからも末永く本市を応援いただきたいと思います。

洋野町で開催された「いわての森林の感謝祭」に出席し、次期開催地としてあいさつをしてまいりました。来年の感謝祭を成功させ、次世代へより良い姿で引き継ぎたいと願っています。

奥州市長 小沢昌記